



林 声

2020

11 月号



県内各地の森林をご紹介します「様々なスタイルの森・おかやま」。第4回目となる今回は、真庭郡新庄村内にある國六株式会社所有のモザイク林です。國六株式会社新庄事業所では、新庄村の美しい景観保全のために、木材生産に加え公益的機能を高める森づくりを目指して、モザイク林造成に取り組まれています。
(詳細はP 2 に記載)

目 次

様々なスタイルの森・おかやま～真庭郡新庄村のモザイク林	2	林業技能講習等情報	10
普及指導区の情報(東備普及指導区)	3	林産物市況	11
農林漁業功労者表彰	4	森林・林業施設の紹介	
安全診断のごあんない	5	(新見市・新見バイオマス発電所)	14
森林環境譲与税の概要及び活用状況等	6		
『ニューフェイスです!』 (奈義町森林組合 三村剛史さん)	7		
研究だより(花粉症対策品種の普及に向けた取組)	8		
野生鳥獣(ニホンジカ・イノシシ)の捕獲強化の取組	9		

【ほっけ～木になる情報】

Q. 家の近くに「山地災害危険地区」の看板が立っていますが、どのような危険がありますか?





一 はじめに

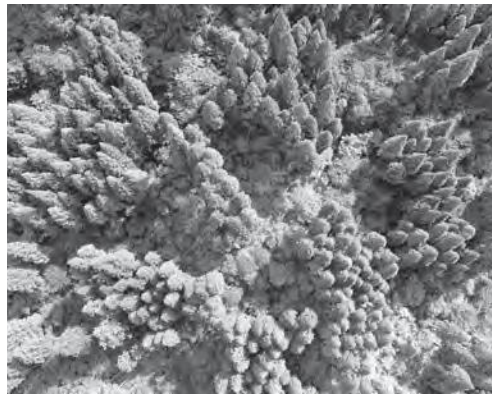
岡山県の西北部に位置する新庄村は総面積6,711畝で、うち90%が森林で占められ、北部には毛無山をはじめとした山々が連なっています。また、村の中央を南北に旭川の源流の新庄川が流れています。

その新庄村に國六株式会社新庄事業所があります。國六株式会社は岐阜県に本社があり、岐阜県と岡山県に約2,700畝の森林を所有し、新庄事業所は、従業員6名で1,385畝の森林(うち人工林が約700畝)を管理されています。その中に今回紹介する岡山県内でも珍しいモザイク林があります。

二 きっかけ

國六株式会社新庄事業所の黒田所長さんが社有林の管理で心がけていることは、大面積の皆伐は行わずトチノキ等の広葉樹を積極的に植栽していくことだそうです。

現在は、針葉樹と広葉樹の面積がほぼ同じになっており、100年先、150年先を見据え、木材生産だけでなく、国土の保全や水源涵養などの森林の公益的機能を発揮させるように多種多様な森を創っていききたいとの思いで、モザイク林の造成に取り組みられています。

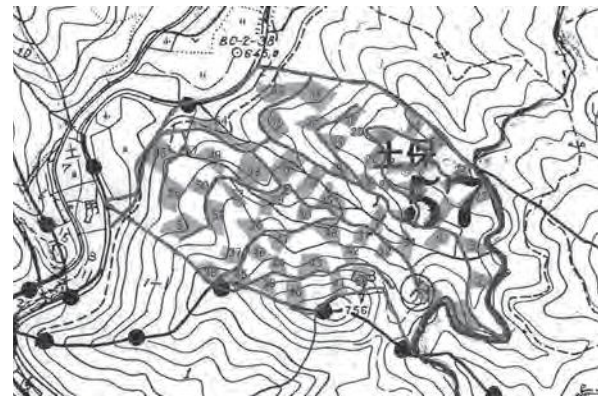


ドローンで撮影したモザイク林の様子

三 モザイク林について

複層林は、木材生産と公益的機能の発揮を両立させるための目標林型で、垂直方向の複層林は主伐時に下層木を損傷しやすく気象災害に弱い等の欠点があります。

こうした欠点が少ないのが水平方向の複層林でモザイク林もその中に含まれます。



モザイク林の施業図の一例

四 モザイク林の概要について

モザイク林の施業履歴は、平成19・20年年度に、約12畝の区域内において、スギ・ヒノキ人工林の群状伐採(1箇所当たりの平均伐採面積0.04畝、計約3.5畝)を行い、平成20・21年度には伐採跡地にトチノキ、キハダ、ケヤキ、ヤマザクラなど新庄村に自生している樹種13種類を植栽されました。

植栽に当たっては、将来良質な広葉樹の生産を目指すため、広葉樹苗木の周囲にスギ苗木を植栽し、暴れ木にならないように工夫されています。植栽密度は、林地の状況や樹種によって変えられてお

り、畝当たり1,200本から2,640本と、様々な林分の造成を行っています。



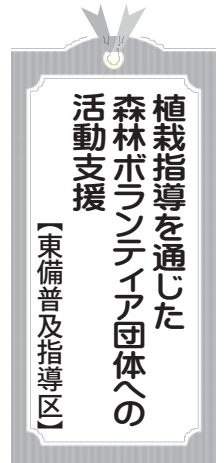
広葉樹の生育状況(写真中央:黒田所長)

五 最後に

黒田さんは、「広葉樹は樹種によって成長に差があり、良好な生育が確認されたトチノキなどは、今後、除伐や間伐等の保育が必要。このモザイク林を次世代に責任をもって引き継いでいきたい。」と熱く語っておられました。

当普及指導区では、新庄村のすばらしい景観の保全と多様な森づくりが推進されるよう、しっかりとサポートしていくこととしております。

(林業普及指導員 神本 英夫)



一 はじめに

東備普及指導区では、備前市内の森林ボランティアグループ片上・伊部つながりの森実行委員会（以下「実行委員会」という。）に対し、日頃から森林体験活動における植栽指導や森林施業に関する助言を行い、活動をサポートしています。

今回、当普及指導区が実施した支援の内容について紹介します。

二 実行委員会の概要

備前市内で森林環境活動を推進している実行委員会は、市内小学校児童を対象とした森林体験活動（桃太郎松の植栽）を毎年実施しており、この活動に林業普及指導員が参加し、植栽指導を行っています。

この活動は、実行委員会、伊部区有林管理会、いんべ緑の少年隊、びぜん緑の少年隊の共催により実施されており、森林体験を通して地域の住民と交流を深め、豊かな心を持つ児童を育てることを目的に、毎年地元の4つの小学校の5

年生児童を対象に伊部区有林管理会所有の「伊部つながりの森」で行われています。

また、地元自治協議会やロータリークラブのメンバーもスタッフとして加わり、安全の確保や昼食等の準備などを担当し、岡山建築士会も講話やシイタケの駒打ち体験の講師として参加しています。

※この活動は、(公社)国土緑化推進機構の「緑の募金公募事業」の「子どもたちの未来の森づくり事業」として実施されています。

三 支援の内容等

(一) 森林体験活動における支援



熱心に説明を聞く児童の様子

森林体験活動では、最初に岡山建築士会の講師から森の役割につい

ての説明があった後、シイタケの駒打ち体験と桃太郎松の植栽体験の2組に分かれて実施しました（駒打ちと植栽は交代で体験）。

植栽体験の場所は広葉樹伐採跡地であることから、実行委員会と相談し、児童の安全に配慮して、事前に切り株を低く刈り払ってもらいました。また、植える位置に苗木と杭を準備してもらいました。

林業普及指導員が、①掘った穴から葉や枝を取り除くこと、②根を広げて植えること、③深植えしないこと、④土を入れた後は根元を踏んで根と土を密着させることの4点を指導した後、児童3〜4人が1組となり、おのおの鍬やシャベルで植え穴を掘り植栽を体験しました。



桃太郎松の植栽体験

(二) 年間を通じた支援
実行委員会や構成員の伊部区有林管理会からは、日頃から各種の相談を受けています。

相談対応の一例としては、昨年植えた松が枯れるとの相談を受けたので、枯損の状況を確認の上、①苗木を植栽まで植え穴横に置いたことにより根が乾燥した可能性があるため、植える直前まで養生袋に入れるなどの乾燥対策を行うこと、②客土を保水性のある山土に変えることなどのアドバイスを行いました。この他にも植栽後10年程度が経過した松林の保育施業についても指導を行っています。

また、活動場所である「伊部つながりの森」には保安林が含まれるため、伐採許可手続き等が適正に行われるよう助言・指導を行っています。

四 今後の取り組み

実行委員会は、地元住民の協力を得て、率先して子供たちへの森林体験活動を実践されており、地域の山は自ら守り育てるという意識の高さを感じました。

東備普及指導区では、実行委員会の活動が継続されるよう、引き続き、支援・協力を行っていかんとしています。

(林業普及指導員 阿部 剛俊)

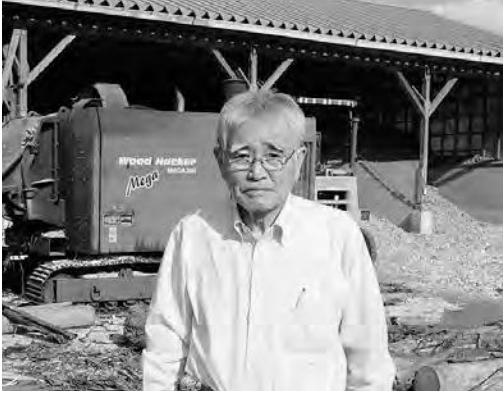
第53回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者の紹介

林業・木材産業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(敬称略)

《知事表彰【林業部門】》

小出 一博 (真庭市)

小出氏は、平成12年に㈱フォレストこいでを創業し、素材生産業を中心にチップ製造等に取り組み、高性能林業機械の積極的な導入を進め、中型機械による作業システムにより、生産性の向上や林地の



小出 一博さん

保全にも配慮した森林整備を推進しておられます。

真庭バイオマス発電所への燃料供給では、土場に敷きならし乾燥させた高品質な燃料チップの生産に取り組み、平成27年のバイオマス発電所稼働当初から、発電燃料の品質向上と安定供給に尽力し、他の燃料供給事業者を牽引して、発電事業の安定運営と地域における木質バイオマスの有効活用の推進に大きく貢献されています。

真庭森林・林業研究会の役員として研究会の運営に尽力し、会長就任時の平成29年には、「全国葉草シンポジウムinまにわ」を開催し、里山の身近な葉草の活用に取り組み県内外の約500人が交流を深めるなど、実行委員長として大会を成功に導かれました。

また、平成18年から10年間、岡山県北部素材生産協同組合の理事長及び全国素材生産業協同組合連合会の理事を務め、素材生産業の育成強化や労働安全対策の推進に尽力したほか、平成12年から真庭地区木材組合の理事、副理事長を務め、通算20年の長きにわたり、地域の林業、木材産業の振興・発展に大きく貢献されています。

《農林水産部長表彰

【団体指導者部門】》

柴田 大司 (真庭市)



柴田 大司さん

柴田氏は、平成17年から岡山県北部素材生産協同組合の理事、専務理事、理事長を歴任し、通算15年の長きにわたり、組合員の加入拡大による組織基盤の強化等に努めておられます。

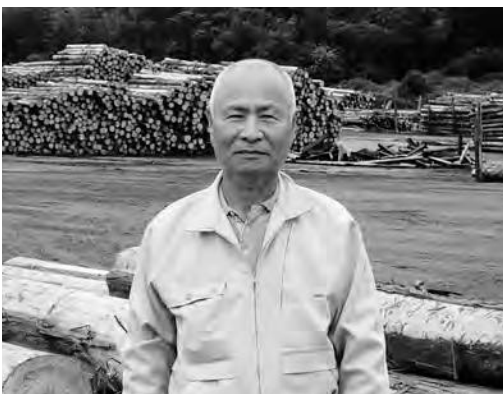
特に、組合員を対象に毎年実施している労働安全講習会では、美作県民局真庭地域森林課とも連携し、VRゴーグルを活用した作業事故の疑似体験や自主改善活動プログラム等の新たな取組を積極的に取り入れるなど、労働安全の推進に尽力されています。

また、平成17年から真庭地区木材組合の理事、副理事長を務め、通算15年にわたり、組合運営に尽力し、木材業界の発展に大きく貢献されています。

清水 義夫 (津山市)

清水氏は、平成11年から加茂地区木材組合の理事、組合長を務め、通算21年の長きにわたり組合運営に尽力したほか、地区を上げて収入間伐を中心とした素材生産活動に取り組んでおられます。

岡山県森林組合連合会津山共販所において毎年開催している「加茂地区木材組合特別記念市」では、平均約3,000㎡が出荷される



清水 義夫さん

など、地域の木材流通基地の発展に大きく貢献されています。

平成27年から津山地区木材組合の副理事長に就任するとともに、岡山県木材組合連合会の特別会員として、連合会事業への積極的な協力要請を行うなど、組合員の結束と組織の連携強化を通じて、木材業界の発展に大きく貢献されています。

また、木の家見学ツアー等の各種イベントに企画段階から積極的に参画し、一般消費者に対する普及啓発活動を通じて、県産材の需要拡大に貢献されています。

牧野 淳一郎 (真庭市)

牧野氏は、国産材の製材加工を専門に、人工乾燥材を主力製品として製造・販売しておられます。人工乾燥処理構造用製材（Aタイプ）及び機械等級区分構造用製材（Aタイプ）でJAS認定を取得し、平成26年の農林水産祭では内閣総理大臣賞を受賞するなど、その卓越した製材及び人工乾燥技術で県内の製材品の品質向上を牽引されています。

平成18年から真庭地区木材組合の理事、副理事長を務め、通算14

年にわたり、組合の結束と組織運営に尽力されています。

また、平成11年から真庭木材事業協同組合の監事に就任し、21年の長きにわたり、組合の財政状況に注意を払い、真庭バイオマス発電事業に向けた燃料チップの加工・販売の規模拡大など、組合事業の大きな転換期においても、健全な財政運営の維持に尽力するなど、地域の林業、木材産業の振興・発展に大きく貢献されています。



牧野 淳一郎さん

受賞された皆様の、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(林政課 林業木材班)

労働安全対策を見直すチャンスです！（安全診断のごあんない）

林業経営体の事務所や現場等に潜む労働災害のリスクを見つけて出して改善の方針を示す、いわば、職場の健康診断を費用負担なしで受診することができます。

この事業は、林野庁の補助事業「林業労働安全推進対策」として、平成27年度からスタートしたもので、全国素材生産業協同組合連合会が事業主体となり実施しています。

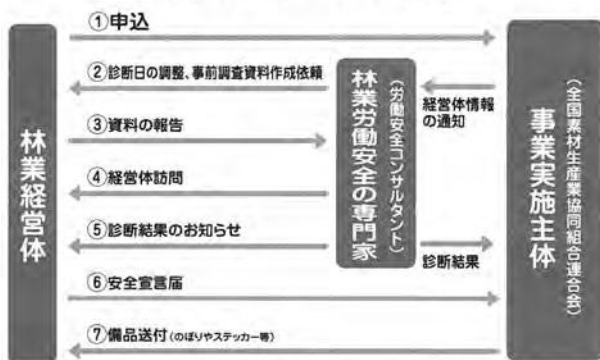
林業労働の専門家（労働安全コンサルタント）が林業経営体を戸別訪問し、経営のトップと直接面談しながら、安全管理体制、作業環境の改善状況、安全活動の実施状況等についての診断を行い、その結果は、安全診断報告書として、お知らせします。

これまで、全国で約1,450の林業経営体が受診しており、岡山県でも、20の林業経営体が受診しています。経営体に不足している安全対策について、専門家の事業者に寄り添ったアドバイスを受けることができ、今後の改善活動に役立てることができます。労働対策に取り組むことは従業員の命

と健康を守ることに加え、経営者の社会的な信頼を得ることもつながります。認定事業者以外の林業経営体でも安全診断の申込は可能ですので、会社の労働安全対策を見直してみませんか？

詳しい内容は全国素材生産業協同組合連合会（林業労働安全推進対策事務局）までお問い合わせ下さい。
電話 070・6437・1562

安全診断の流れ



(林政課 普及指導班)



一 はじめに

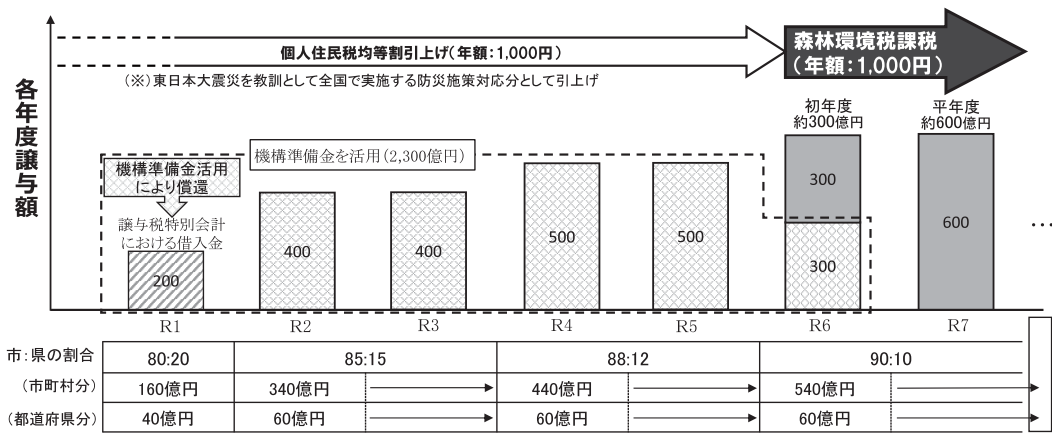
森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が平成31年4月1日に施行され、令和元年度から市町村及び都道府県に森林環境譲与税の譲与が始まっています。

今回は、森林環境税・森林環境譲与税の創設の趣旨や、森林環境譲与税の用途の範囲及びその活用状況等についてご説明します。

二 税創設の趣旨

森林環境税及び森林環境譲与税は、パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設されました。

森林環境税は国民一人一人が等しく負担する仕組みで、令和6年度から課税が始まります。一方、森林環境譲与税は、森林現場における諸課題に早期に対応する必要があることから、令和元年度から譲与が始まっています。



市町村への森林環境譲与税の譲与額は、市町村の体制整備の進捗に伴い、徐々に増加するように設定されています。

また、都道府県へは、森林整備を実施する市町村の支援等を行う役割に鑑みて、総額の1割が譲与されます（制度創設当初は、市町村の支援等を行う都道府県の役割が大きいと想定されることから、譲与割合を2割とし、段階的に1割に移行）。

令和2年度の譲与額は、税創設時は200億円でしたが、近年、自然災害による甚大な被害が発生しており、災害防止等の観点から森林整備の推進が喫緊の課題となっていることなどを踏まえ、譲与額が前倒しで増額され、400億円となりました（令和2年度の岡山県譲与額 市町村6.7億円、県1.2億円）。

三 法律上の用途の範囲

森林環境譲与税の用途については、法律上、「森林の整備に関する施策」及び「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策」と規定されており、法律上の用途の範囲内において、地域の実情に応じて幅広く弾力的に事業を実施することが可能となっています。

四 森林環境譲与税の活用状況

森林面積の多い市町村では、森林整備関係の事業に活用されており、主に森林経営管理制度における森林所有者への意向調査やその準備作業等に取り組みられています。人口の多い都市部などでは、木材利用や普及啓発、川上の市町村との連携による森づくり等、川上の森林整備を支える取組が行われています。

詳細については、全国の市町村の取組事例が掲載されている林野庁ホームページをご覧ください。

【林野庁ホームページ】

森林環境譲与税の取組事例
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei-jouyozai.html>

五 おわりに

都市部や中山間地域を通じて、国民一人一人が等しく負担を分かち合い、国民みんなで森林を支えるという本税の趣旨を十分踏まえ、市町村において効果的な森林整備等の事業が実施されるよう、県としましても引き続き市町村の支援を行ってまいります。

（林政課 普及指導班）

「ニューフェイスです！」

奈義町森林組合

三村 剛史さん (33歳)

今回は、奈義町森林組合のニューフェイス、三村剛史さんをご紹介します。三村さんは平成30年11月から技術職員として勤務されています。



奈義町森林組合 三村 剛史さん

一 経歴

三村さんは、美作市（旧美作町）の生まれで、中学、高校は兵庫県で過ごされ、大阪の大学を卒業後に食品メーカーに就職されました。就職後は、都市部で日々、

多忙な毎日を過ごされ、林業とは無縁の生活でした。転勤先の徳島県で、もともと興味のあつた自然教育の学習スタッフに携わる機会がありました。そこで人と自然との繋がりを伝えるには、まずは自然から学ぶことが必要だと気が付き、自然と向き合う仕事として、林業に興味を持たれ、その後、徳島県内の林業体験ツアーに参加して、この仕事の魅力を知ったそうです。

こうした中、かねてから、将来は、自然豊かな場所で生活を送りたいとの想いや、奥様のご実家が奈義町であることから、岡山県北で仕事を探していたところ、森林組合の職員募集を知り、就職を決められたとのことでした。

二 仕事の内容

三村さんは、主に現場の施行管理と造林補助申請事務の仕事をされています。ご自身は現場作業に従事したいとの想いも強かったようです。現在は、図面の作成や写真整理だけではなく、施業集約化の提案、フォレストスターとの連絡調整、森林測量など、多岐にわたり森林組合の業務にあたっています。

森林組合に入られた当時の苦労

話を伺うと、「林業の専門用語を覚えることが大変だった。岡山県北に戻ってきて先輩職員の岡山弁を理解できないときもあった。」そうです。休日は、大学時代に始めたサーフィンをするために日本海へ出かけたたり、鳥取県智頭町で開催されている自伐型林業研修会に参加し、幅広い知識と技術を習得するなど、とても充実した生活を送られています。



施業の集約化を検討する三村さん

三 仕事の感想

「どのような時に仕事にやりがいを感じますか」と伺うと、「依頼された山がきれいになること。森

林所有者の方から話を聞くことも楽しみのひとつになりました。」と答えてくれました。

また、先輩職員の仕事ぶりを見て、「この技術を習得するためにどんな勉強をしたか知りたい」と感じることもあるそうです。

四 抱負

今後の抱負を伺うと、「自ら担当した提案型集約化施業地を完了させて、森林施業プランナーの資格を取得したい。また、林産事業にも携わりたい。」と話されています。

また、将来の夢は「林業以外にも自然と人をつなぐ役割を担いたい。また、山を購入して自分で作業道を整備し山づくりをしたい。」と語っておられました。

五 おわりに

お忙しい中、快く取材に応じて頂きました。

お話を伺っていると、将来のビジョンをしっかりと持ち、仕事に対する熱意と意欲を感じました。

三村さんのさらなる成長と活躍を当普及指導区としても期待しています。

(勝英普及指導区 辻 昭浩)

研究
だより

花粉症対策品種の
普及に向けた取組について



一 はじめに

スギ花粉等によって引き起こされるスギ花粉症は、国民の約4割が罹患していると推計されるなど、社会的に大きな問題になっていま

す。本県においても、花粉の飛散の低減に向けた取組の推進を重点施策として掲げています。

そこで、今回、当研究所で取り組んでいる、花粉症対策品種の普及に関する事業及び研究について紹介します。

二 少花粉品種による採種園

現在、本県が造林事業に供している少花粉品種は、スギ10品種、ヒノキ9品種です。苗木は両樹種ともに実生で生産されており、これらの種子は、当研究所が管理する採種園において全量が賄われています。

良を順次行ってきました。現在、スギにおいては全ての採種園が、

ヒノキでは特定母樹からなる一部の採種園を除く採種園が、少花粉品種で構成されています。

三 種子生産に関する取組

少花粉品種による採種園の管理においては、カメムシ類による種子の吸汁被害を防ぐために、球果が着生した枝に袋をかける作業（袋かけ）や薬剤散布などの防除事業を通じて、種子発芽率をはじめとする種子の品質向上等に努めています。また、種子の安定的かつ効率的な供給を目的として、スギへのジベレリン顆粒希釈液の散布処理、ヒノキの樹幹や枝へのジベレリンペーストの包埋処理といった着花結実促進事業を実施しています。加えて、令和2年度から高所作業車を導入し、高所での袋かけや種子採取を実施することで、防除及び種子採取等の作業の効率化を図り、種子の安定供給を目指しています。

四 育苗及び植栽後の生育に関する取組

現在、当研究所では、研究課題として「少花粉スギ等の生育状況調査」に取り組んでいます。本課題では、少花粉スギ・ヒノキのコンテナ苗における育苗調査を実施し、育苗期間の短縮並びに育苗コスト削減の可能性について検討を行っています。また、少花粉スギのモデル林等での生育調査も実施し、少花粉苗木の植栽促進のための基礎的な情報を収集しています。

五 おわりに

花粉症対策に取り組むに当たっては、再造林等における少花粉スギ・ヒノキへの植替えを促進する必要があります。そのためには、木材、木質バイオマスやCLTの利用促進などにより、木材利用の拡大を図ることが不可欠です。そして、少花粉品種の種子の増産と、苗木生産体制のさらなる強化も必要となつてきます。

種子の増産のためには、種子生産性等を考慮した上で、採種園を適正に管理することが重要です。当研究所内の採種園は、スギ、ヒノキともに園齡が概ね40年生以上であることから、植栽（補植）や

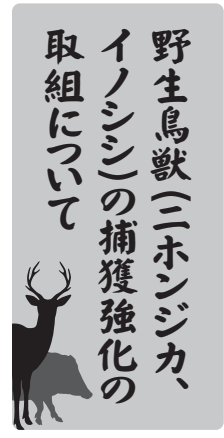
断幹等の整備を順次行い、適正な園齡への移行や、作業しやすい樹体サイズ・形状に仕立てる必要があります。今後も、こうした管理作業を適正に行い、効率的・安定的な種子生産に努めます。

苗木生産では、今後も急速なシェア拡大が見込まれるコンテナ苗の生産効率の向上が不可欠です。当研究所においても、少花粉品種の成長等に関するデータの収集や、コンテナ苗による育苗の効率化及び期間の短縮化に関する研究を、引き続き行っていくこととしていきます。



高所作業車による袋かけ作業

（林業研究室 技師 新原 一海）



一 はじめに

全国で野生鳥獣による農作物等への被害が深刻化していることから、環境省及び農林水産省は、特に被害が多いニホンジカ（以下「シカ」という。）とイノシシについて、本年度の狩猟期を「集中捕獲キャンペーン」と位置づけ、捕獲強化を図ることをしています。

本県においては、従来から10月をシカ捕獲強化月間に設定し、捕獲強化を図っているところですが、依然としてシカ、イノシシの被害額は高止まりしております。

また、生態系被害や生活被害も顕著になってきており、今後、県下全域への生息域拡大や被害増加が懸念されています。

こうした状況を受け、シカ、イノシシの捕獲強化を一層推進し、被害拡大防止に繋げるため、シカは従来の捕獲強化月間に本年度の狩猟期等を加えた期間を、またイノシシは狩猟期を新たに「捕獲強化期間」として設定することになりました。

二 集中捕獲キャンペーンの実施期間、区域設定及び実施体制等

- ニホンジカ
 - ・実施期間 10月1日～3月15日
 - ・区域設定 兵庫県及び鳥取県境に接する9市町村
- イノシシ
 - ・実施期間 11月15日～3月15日
 - ・区域設定 全県

三 捕獲強化の具体的な方法

- ① わな設置数の増加
- ② ICT わなや大型囲いわなの活用
- ③ 捕獲者サポート体制の充実及び環境整備（捕獲技術向上研修の実施等）

四 最後に

皆様には、この取組の趣旨をご理解いただき、期間中における捕獲強化にご協力いただきますようお願いいたします。

（鳥獣害対策室）



— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕 ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

- 〔野生獣類忌避剤〕 ランテクター水和剤・コニファー水和剤
- 〔幼齢樹保護カバー〕 くわんたいⅡ
- 〔樹皮食い防止〕 バークガード・美樹巻夫
- 〔樹幹注入剤〕 マッケンジー・マツガード・他
- 〔野生草食獣侵入防止〕 防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社
TEL.086-292-5525

販売元：大同商事(株)大阪営業所
TEL.06-6384-1288



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

技能講習会の開催（12月～2月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	1月21,22日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	12月3,4日、1月14,15日 1月16,17日、2月4,5日	
	笠岡	2月9,10日	
	津山	2月25,26日	
フォークリフト運転	岡山	12月2日、12月19日 1月6日、2月3日、2月20日	
	笠岡	2月12日	
はい作業主任者	岡山	2月3, 4日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会



「伐って・使って・植えて・育てる」

～ 林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、
下刈り費は上限 5 万円を 5 年間助成します。
詳細につきましては、当連合会各支所又は
最寄りの森林組合へご相談ください。

(※森林組合の連絡先等は
岡山県森連ホームページにあります。)



日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	間伐材利用植生マット 森樹郎マット 〔切土土砂用〕	間伐材利用生分解型植生マット 森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	間伐材利用生分解型植生シート 張りウッド 〔盛土用〕	間伐材利用植生シート ハリシバモック 〔盛土用〕
--	--	--	---	---------------------------------------



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

林 産 物 市 況



●木 材 (10月20日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4 ~ 1 6	9.5	—	桧	3 m	1 4 ~ 1 6	20	16
		1 8 ~ 2 0	9.5	—			1 8 ~ 2 0	18.5	16
		2 2 ~ 2 8	10	—			2 2 上	17	16
	4 m	1 8 ~ 2 2	9.5	—		4 m	1 4 ~ 1 8	19	18
		2 4 ~ 2 8	9.5	—			2 0 ~ 2 2	17	16
		6 m	1 6 ~ 1 8	13			—	2 4 ~ 2 8	17
松	3 m	1 8 ~ 2 2	9	8	6 m	1 6	20	—	
	4 m	1 8 ~ 2 2	11	8		1 8 ~ 2 0	28	24	
・出荷材積				約1,800m ³					
(共販所より概況)									
杉概況 元木良材は引き合いが多く、高値で取引 並材の相場は落ち着いた様子 【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 【4m】 中目材 横這い 元 木 強含み					桧概況 中目材・柱材の役物が高値で取引 構造材も安定した相場取引 【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 元 木 強含み 【4m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 元 木 横這い				
松概況 品薄だが相場は横這い。									

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材 (10月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)	
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	~65,000 (無背割)	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	63,000 ~ 65,000	
	正角 4 m 10.5cm角	特等	K	65,000 ~ 67,000	
	正角 4 m 12cm角	特等	K	63,000 ~ 65,000	
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm ×15~18cm	一等	K	75,000	
米 マ ッ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	52,000 ~	
	平角 3 m、4 m 10.5 ×15~21cm	特等	G	55,000 ~ 60,000	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	68,000 ~ 70,000	
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	50000~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



CT-500C GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社
〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

おかやまの木で家づくり支援事業

✓助成金額：最大24万円/戸
✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）

詳細はコチラ
<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)
TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

緑あふれる環境づくり

山都屋 株式会社

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

ほっけー木になる情報

Q. 家の近くに「山地災害危険地区」の看板が立っていますが、どのような危険がありますか？

A. 山地災害は「山地に起因する災害」と定義され、一般に土石流、地すべり、山崩れなどの現象によって起こる災害のことを指します。岡山県では、地形・地質・林況等の条件と人家や公共施設、道路等の保全対象との関係から、山地災害の起こりやすい地区を「山地災害危険地区」とし、そのうち、土石流が起きやすいところを「崩壊土砂流出危険地区」、地すべりが起きやすいところを「地すべり危険地区」、山崩れが起きやすいところを「山腹崩壊危険地区」として分けています。

山地災害危険地区の位置情報等につきましては、岡山県ホームページ「おかやま全県統合型GIS」の防災情報の中で公表しておりますので、災害への備えや避難行動等にお役立てください。

(農林水産部治山課)

【岡山県ホームページ URL】 <http://www.gis.pref.okayama.jp/pref-okayama/Portal>

山 地 災 害 危 険 地 区

山腹崩壊危険地区

山くずれ が起こりやすいところ



- ときどき落石がある
- 過去に山くずれがあった
- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく、くずれやすい地質である
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である

【山くずれ】

雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が突然くずれ落ちる現象です。

地すべり危険地区

地すべり が起こりやすいところ



- 過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- 山の斜面に亀裂や段差がみられる
- わき水や地下水が豊富である
- 断層や、もろく、くずれやすい岩石がある
- 火山や温泉の影響で粘土化した土がある

【地すべり】

地下水などの影響により、粘土質の土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象です。

崩壊土砂流出危険地区

土石流 が起こりやすいところ



- 過去に土石流があった
- 溪流が急で大きな石やたくさんの土砂がある
- 上流が山くずれなどで荒れている

【土石流】

山の斜面から崩れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水といっしょに一気に下流に押し流される現象です。

出典：「日本に山地災害が多いわけ」林野庁http://www.rinya.maff.go.jp/j/saigai/saigai/con_1.html

県産材利用
緊急対策事業を
受け付けています

新型コロナウイルス感染症の影響で減退した木材需要を喚起するため、県産乾燥材等を使用して民家の非住宅建築物を新築または改修する施工業者を対象に、助成金を交付する事業を実施しています。

1 助成対象者

県内において民間の木造非住宅建築物を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）

2 主な採択条件、助成金額

- (1) 民間非住宅建築物の新築
 - ・ 県産乾燥材を8㎡以上使用する場合…定額20万円/戸
 - ・ 県産森林認証材を4㎡以上使用する場合…12～24万円/戸 (3万円/㎡)
- (2) 民間非住宅建築物の改修
 - ・ 県産森林認証材を2㎡以上使用する場合…6～24万円/戸 (3万円/㎡)

3 申込先

(一社) 岡山県木材組合連合会
岡山市北区錦町1番8号
(086) 231-6677

(林政課 林業木材班)

林声

令和二年十一月一日(第四七四号)
(隔月一日発行)

編集 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒700-0866 岡山市北区岡南町二一五一一〇

森林・林業施設の紹介

「新見バイオマス発電所」

県下で3例目の木質バイオマス発電所が、新見市神郷下神代において、今春から稼働しています。

新見バイオマス発電所は、合同会社新見バイオマスエナジーが運営しています。敷地内には、原木を調達して木質チップを製造、販売する合同会社バイオマスサプライがあり、燃料供給を担っています。

発電規模は、1,995kw、年間発電量1,580万kwアワーで、一般家庭の消費電力量約4,300戸分に相当します。

昨年10月から原木の受入を開始



新見バイオマス発電所の外観



乾燥のため原木を小割している

し、3月からの試運転を経て、5月12日に売電を開始しました。

集荷した原木は、貯木場で乾燥させた後に、発電所に併設されているチップ製造ラインでチップ化して燃料利用します。

製造したチップの一部は、グリーンミュージアム神郷温泉の木質ボイラーでも活用されています。

もとより、地域の林業・木材産業の活性化への貢献が期待されるの営業ですが、思いもかけずコロナ渦中の稼働となり、地域の木材需要の支えとなりました。

再生可能な循環資源として注目される木質バイオマスですが、今後、数十年スパンの長期にわたって安定確保するためには、地域の森林資源の適正な管理を継続していくことが欠かせません。

(新見普及指導区 小川 章子)

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約4千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。